2.5 貴都市のビジョンを反映させるために、オリンピック競技大会のすべての構成要素（スポーツ、聖火リレー、都市活動、文化、セレモニー）を貴プロジェクトにどのように統合するかを説明してください。

“Discover Tomorrow”にすべてを集約

2020年東京大会では、誰もが「未来をつかむ（Discover Tomorrow）」ことができ、世界で最も先進的で安全な都市の中心でダイナミックな祭典を経験することができる。

“Discover Tomorrow”というビジョンを大会の全構成要素（スポーツ、聖火リレー、セレモニー、都市活動、文化、教育）に分かりやすく、完全に統合させる。

2020年東京大会では、大会のビジョンを実行するにあたり、大会組織委員会を支援する作業部会を設立する。この作業部会は国、都、全ての会場都市、文化関連組織や教育関連組織等関連する団体の代表で構成される。

大会組織委員会においても、このビジョンと主な目的が各部門が作成する文書を通じて統合され、全てのボランティア向けトレーニングプログラムに繰り込まれる。

2.6 オリンピック競技大会の準備期間及び大会中の両方で開催する文化イベントのコンセプトについて述べてください。

文化

日本文化は極めて豊かで刺激的である。何百年という伝統に深く根ざし、現代のトレンドの発信源として若者に影響を及ぼしている。

東京を訪れる人は、革新的なファッションやデザイン、音楽、美食、現代美術を生み出す活気のある雰囲気に魅了される。これらは、すべて日本古来の伝統からインスピレーションを受け、伝統と調和している。

私たちは、訪れる人に特別な体験をしてもらうため、東京、日本、そして世界の文化の最高の要素を取り出し、独自のビジョンである”Discover Tomorrow”から発想を得た様々な文化プログラムを展開する。

移行段階から大会まで ー すべての人のためのステージ、未来のためのステージ

開催都市決定後から文化事業、展覧会、祭典など包括的なプログラムに着手する。このプログラムには、アスリートと同規模のクリエーターが世界中から集い、大会期間中にピークを迎える。

これらのプログラムにより、日本を含めたアジアでのオリンピックの価値の普及を促進し、地域コミュニティで大会への情熱を喚起する。
2016年招致をきっかけとして開始した「東京文化発信プロジェクト」は、最先端の芸術からコミュニティアートまで、次世代を育成するプラットフォームとしての機能を持ちながら、文化の多様性を促進する事業を行なってきた。このプロジェクトをさらに発展させ、文化に対する意識を広め、すべての市民にオリンピズムのメッセージを伝えていく。

2020年東京大会では、「アーツ・フォー・オリンピズム・ユース・クリエーション・プログラム」を実施し、若手芸術家を支援する東京都の取組をさらに確かなものにする。このプログラムでは、大会期間中の国際的なコラボレーションや伝統文化から革新的な技術にいたるまでの挑戦的なプロジェクトを通じて、世界中の若手芸術家がオリンピズムの概念を探究する取組を進める。

大会期間中のプログラム ー 都市が劇場となる

「TOKYO2020フェスティバル・オブ・アーツ・アンド・カルチャー」は、日本社会が共有するオリンピックの価値を称え、未来を形作る。
このフェスティバルでは、大会を訪れた人々や地域コミュニティに、文化に触れ、親しむ機会を数多く提供し、「未来（あした）をつかむことを目指した、日本の文化特性である多様性に関する世界の若手芸術家の対話」という主なテーマを通じて文化交流を促進する。
「アーツ・フォー・オリンピズム・ユース・クリエーション・プログラム」に参加する若手芸術家、高齢者、障害者等は、共に創作し、卓越、友情、尊敬というオリンピックの価値を普及し、2012年ロンドン大会の「アンリミテッド」プロジェクトの成功を継承する。

大会期間中は、劇場や美術館を開放するだけでなく、公園や通りや公共施設など、都市の隅々で、伝統と現代、日本古来の叡智と先端技術が混ざり合った文化の多様性を体験できる。都市自体がこの祝祭のための大きな劇場となる。

TOKYO2020文化プログラムは、スポーツと文化を通じた地域社会を構築する社会システムとして、オリンピックのレガシーとなるだろう。

2.7 オリンピック競技大会の準備期間及び大会中の両方で計画する教育プログラムのコンセプトについて述べてください。

教育

私たちは、オリンピックは、人々を鼓舞し、まとめ、一致団結させる独特の力を持っていることを認識している。そうした力強いメッセージを2020年東京大会の教育プログラムを通じて日本及び世界中の全ての人々に伝えていく。スポーツの根本的な価値や、健康的なライフスタイルの普及といったオリンピック・ムーブメントの発展が、このプログラムの優先事項となる。

移行段階から

2020年東京大会は、積極的な国際的なスポーツ振興事業を展開することによって2012年ロンドン大会の「インターナショナル・インスピレーション」プログラム及び2016年リオ大会の同様の活動のレガシーを引き継ぐ。

オリンピアンは地域コミュニティの講演会でオリンピックの価値を推進し、市民は、地域スポーツクラブやスポーツ教室によって、年齢、性別、能力に関わらず健全なライフスタイルを取り入れることができる。

日本の全ての中学・高校では、オリンピック・ムーブメントの果たす役割や公正に取り組む精神、健全なライフスタイルの価値、体育及び学校スポーツが国の教育課程に既に組み込まれている。若者が充実した人生を送ることができるよう、オリンピックの価値と調和するように、プラスの価値に基づいたアンチ・ドーピング教育プログラムが拡大される。また、各学校や大学がNOCと対になる、「1校1NOC運動」を通じてさらに学生にオリンピズムを広めていく。学生はそのNOCが属する国の文化や歴史を学び、その国の若者と交流を図る。